

☆ 視点を変えれば、世の中は変わる。 ☆



☆ Rethink=視点を変えて考える

ちょっとした問題や課題に出会ったとき、視点を変えて本質に気づくことで、前向きな行動につながります。

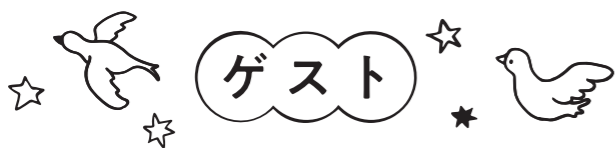
Rethink PROJECTは、JTがパートナーの皆さまとともに行う地域社会への貢献活動の総称です。

私たちは、心みたされるよりよい明日の実現に向けて、Rethinkをキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かしながら、地域社会の様々な課題に向き合っていきます。

そしてRethinkフォーラムは、地域住民、地域企業、自治体の方々とともに地域社会の課題解決に向けてディスカッションをする場です。みんなで地域の未来についてRethinkしてみませんか？



「Rethinkフォーラム～視点を変えれば、世の中は変わる。」(茨城新聞社主催、茨城県、水戸市、水戸商工会議所後援、Rethink PROJECT協賛)が10月30日、水戸市千波町の水戸プラザホテルで開かれました。第1部は俳優・タレントの杉浦太陽さんがトークショーに出演。第2部では杉浦さん、茨城県の大井川和彦知事、声優の桜川めぐさんの3人が、「Rethink茨城～茨城ブランドの定着と認知向上を目指して～」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。要旨を紹介します。



すきうら たいよう
杉浦 太陽さん
(俳優・タレント)

演題:「僕とRethink」

1981年大阪府出身。2001年「ウルトラマンコスモス」主演。その後、ドラマ、映画、バラエティなどで幅広く活躍。NHK Eテレ「趣味の園芸 やさいの時間」、TBS「ひるおび」、TOKYO FM「杉浦太陽・村上佳菜子 日曜まなびより」などにレギュラー出演中。「ベスト・ファーマー」イアローリボン賞「イクメンオブザYEAR」など受賞。



☆ つながる縁 ☆

—これまで茨城に来ることはありませんでした。番組のロケなどでよく来ます。東京から近く、霞ヶ浦は釣りでも身近な場所。レンコンも掘ったことがあります。泥付きのレンコンなんかを見ると、訪れた時の記憶がよみがえります。幼少期は瀬戸内海で育ちました。海が近い場所。岡山から大阪、東京に移り住みました。高校では建築科でした。建築士になりました。京本政樹さんのトークショーを見に行った時、事務所の人に声を掛けられて、高校2年で芸能活動を始めました。当時16歳。オーディションには100回近く落ちました。そこでウルトラマンに出会ったのが大きかったです。母の勧めで、祖父の墓参りに行ったら受かりました。母の行動力はすごい。母のおかげです。茨城に来るようになるきっかけはキッチンカーの番組に出たことでした。レンコン、アンコウ、ハマグリと出会い、地元の方たちとつながっています。縁は大事ですね。

★ 夫婦間のアクリル板破壊
—26歳の時、元「モーニング娘。」の辻希美さんと結婚されました。妻が18歳の時に出会い、妻が20歳になって結婚しました。今は4人の子どもたちがいます。運動会の参観は大変です。自分ではイクメンと言ったことがないのだけど、家庭生活をブログで書いていたらそう呼ばれるようになりました。子どもが増えるたび、自分も成長しています。子どもが生活の中心になり、夫婦は見えないアクリル板を挟んだようになっていきました。結婚3、4年目に、家に帰りたい状態になりました。「このままだといかん」と、サプライズ誕生日や結婚記念日の旅行を企画して、「昔に戻りたい」と妻に伝えました。「たーくん」ではなく「ねえ」と呼ぶのもやめて、と。そうして「アクリル板」を壊しました。自分の意識も変えました。家事は「手伝う」ではなく、一緒にやるもの。そうすると、自分の家での役割が欲しくなってくる。自分の存在意義を見つけていました。

★ 社会意識の変化体感
—いいお父さんぶりですね。この15年くらいで、社会が動いたと感じます。今や保育園に子どもを送るのは、半分くらいお父さん。国も育児を推進しています。もっと女性が社会進出していいと感じます。Rethinkは日々しているかな。きょうも朝4時から仕事、出演を経て茨城にいます。めちゃめちゃ1日が長いけど、客観的に見ると「1日、効率的だったんじゃない？」と思えてきます。仕事の現場はともかく、家でのプライドは必要ないと考えています。家庭での「太陽」は妻。4人も産んでくれて頭が上がりません。それでもあくまで対等な立場が基本です。そうすると心が楽。これから子どもたちが巣立ったら、2人の生活を楽してみたいです。

テーマ「Rethink茨城～茨城ブランドの定着と認知向上を目指して～」

モデレーター

パネルディスカッション出演者 杉浦 太陽さん(俳優・タレント)、大井川 和彦さん(茨城県知事)、桜川 めぐさん(声優)、菊池 亜紀子さん(MC・イベントプランナー)

菊池 茨城ブランドのさらなる発展をRethinkしたいと思えます。
大井川 民間調査会社の魅力度ランキングは今年45位となりましたが、来年はまた47位かも。茨城が47位じゃないと盛り上がりません(笑)。
桜川 私は桜川市出身、東京在住です。両親は桜川市に住んでいます。芸名は出身地からいただきました。
杉浦 他県から見た茨城は、なぜ「45位」なのか。今日はそれを知りたいです。
菊池 まず、農林水産物のブランド化について知事に説明をお願いします。

杉浦 インバウンド(訪日客)の外国人が買うのでは？
大井川 残念ながら、東日本大震災の影響で韓国や中国など輸出ができないのですが、その代わりインバウンドで食べてもらいます。
杉浦 ブランド化は「二極化」ですか？
大井川 大量に作る農産物もあります。典型的なものは稲作とサツマイモです。なかでも、干し芋は茨城がシェア9割。今のうちにブランド化を進め、消費者に「茨城じゃないと駄目」と思ってもらいたいですね。
杉浦 うちの妻はその通りです。茨城の干し芋じゃないと駄目(笑)。

◎農産物輸出、7年で13倍
菊池 県産品の魅力を海外にどう広げていきますか。
大井川 本県からの農産物輸出は、2023年度までの7年間で約13倍に増えています。日本は人口減少時代。円安もあり、今のうちに海外市場を獲得する必要があります。サツマイモや日本酒、イチゴ、メロン、ナシを輸出し、特にメロンの輸出は大きく伸びています。
杉浦 世界では、日本酒、ジャパニーズサケが注目されていますね。
大井川 国内での競争が激しいので、一歩抜け出そうと努力しているところです。日本酒で最近話題になったのは、(米大リーグ)ドジャーススタジアムのVIPルームに吉久保酒造(水戸市)の日本酒「一品 純米大吟醸」が置かれました。もしかしたら大谷翔平選手も飲んだかも…。
桜川 声優のイベントで中国に行った時、茨城県公認Vチューバー「茨ひより」ちゃんのパフレットを持ってきてくれた人がいました。日々の活動で、全国を回って茨城の恵みを発信したいです。



◎メイド・イン・茨城？
菊池 杉浦さんの妻、辻さんの動画を拝見すると、買い物バッグから取り出すものに茨城産が多いんです。レタスとかレンコンとか。
杉浦 無意識のうちに手に取っているのかな…。
大井川 東京都中央卸売市場青果物取扱高で、20年近く連続1位が茨城産です。東京の人の体は、「メイド・イン・茨城」ですよ(笑)。



◎最後に一言
桜川 どんどん茨城をPRします。温かく見守ってください。
大井川 皆さんと茨城県の食の魅力についてお話しできて良かったです。最後に、「アントラース焼き」をご紹介します。ピーマンを丸ごと焼いて麵つゆにつけて食べるのですが、ものすごく美味しい。茨城で一番驚かされた食べ方の一つです。ぜひお試しください。
杉浦 旅番組を始めて17、8年。茨城に来るたび新しい発見があります。「食べてみたい」「また来たい」と、県外出身だからこそどんどん発信したいです。



主催/茨城新聞社 後援/茨城県、水戸市、水戸商工会議所 協賛/Rethink PROJECT